

CS こひつじ科礼拝式次第

2021年11月28日 午前9時30分

2021年度年間テーマ：「光の子として歩もう！～イエスさま 来てください～」

テーマ曲：ワワワいっしょに（92番）

暗唱聖句：「私たちの助けは 天地を造られた主の御名にある。」

詩編 124編8節

53、あさです（こどもさんびかをお用いください）

おいのり 礼拝に招かれたことを感謝しましょう

せいしよ サムエル記下7章8～17節

わたしの僕ダビデに告げよ。万軍の主はこう言われる。わたしは牧場の羊の群れの後ろからあなたを取って、わたしの民イスラエルの指導者にした。あなたがどこに行こうとも、わたしは共にいて、あなたの行く手から敵をことごとく断ち、地上の大いなる者に並ぶ名声を与えよう。わたしの民イスラエルには一つの所を定め、彼らをそこに植え付ける。民はそこに住み着いて、もはや、おののくことはなく、昔のように不正を行う者に圧迫されることもない。わたしの民イスラエルの上に士師を立てたところからの敵をわたしがすべて退けて、あなたに安らぎを与える。主はあなたに告げる。主があなたのために家を興す。あなたが生涯を終え、先祖と共に眠るとき、あなたの身から出る子孫に跡を継がせ、その王国を揺るぎないものとする。この者がわたしの名のために家を建て、わたしは彼の王国の王座をとこしえに堅く据える。わたしは彼の父となり、彼はわたしの子となる。彼が過ちを犯すときは、人間の杖、人の子らの鞭をもって彼を懲らしめよう。わたしは慈しみを彼から取り去りはしない。あなたの前から退けたサウルから慈しみを取り去ったが、そのようなことはしない。あなたの家、あなたの王国は、あなたの行く手にとこしえに続き、あなたの王座はとこしえに堅く据えられる。」ナタンはこれらの言葉をすべてそのまま、この幻のとおりダビデに告げた。

おはなしとおいのり 「神の宮イエス・キリスト」

狩野照乃先生

おはようございます。めっきり寒くなりましたね。皆さんは体調を崩すことなく元気に過ごせていますでしょうか。今日からアドベント（待降節）です。イエスさまのお誕生日とされている12月25日からさかのぼって4週間前の主の日から、お祝いの準備をしてイエスさまのお誕生日を待ち望む期間のことです。今日の聖書箇所は、ダビデさんが王様だった時のことが、預言者を通して書かれています。ダビデさんが生きていたこの時代は、イエスさまは未だお生まれになっていませんが、神さまは既に、イエスさまがこの地上にお生まれになる準備をしてくださっていました。

ダビデさんは、ベツレヘムに住むエッサイという人の8番目の息子で、神さまに選ばれてイスラエルの王様になりました。ダビデさんは、王様になる前も、王様になった後も、たくさんの人から命

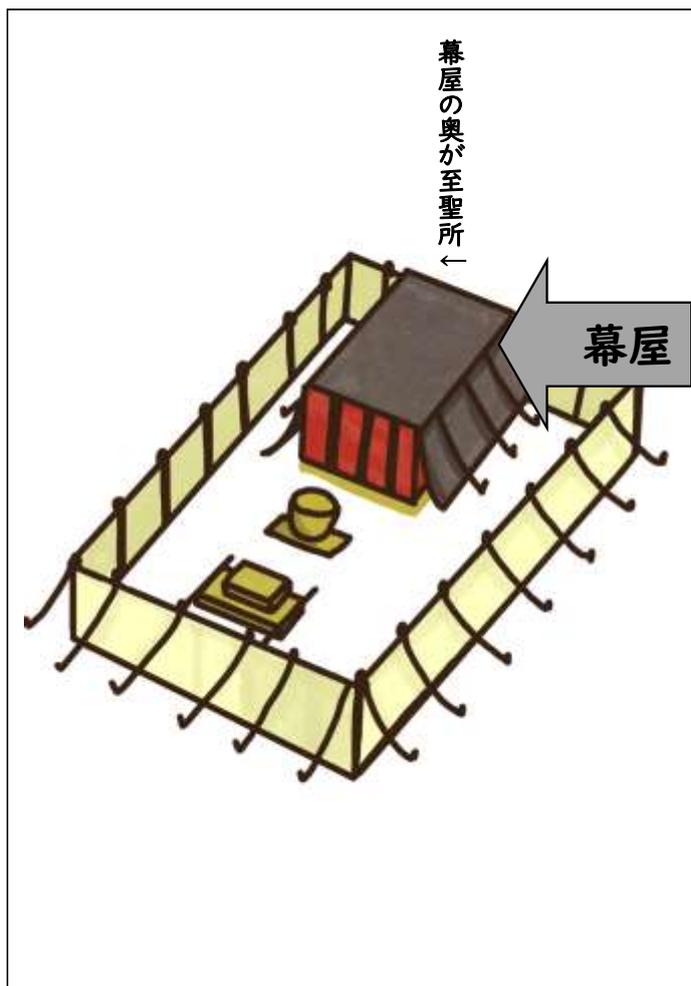
を狙われますが、神さまがいつも守ってくださっていたので、イスラエル国の立派な王様になることができました。そんなダビデさんは、いつも守ってくださる神さまのために神殿を建てようと考えました。神さまはモーセさんの時代から永い間、幕屋の中の至聖所にお住まいになっていたのですが、ダビデさんは自分が立派な王宮に住んでいるのに、神さまは幕屋のような粗末な場所に住まわられているのは申し訳ないので、立派な神殿を建てて差し上げたほうが良いと思いました。けれども、神さまが幕屋の中の至聖所にお住まいになったのには理由がありました。聖霊であられる神さまは、立派な建物ではなく、立派な信仰を大切にしていたので、これまでも神さまが立派な神殿を建てることを求めてはいらっしゃいませんでした。ダビデさんもモーセさんも、どんなに苦しいことがあっても、神さまが共にいてくださることを心から信じて、行動することができたため、その苦しみを乗り越えることができたのです。そして神さまは、ダビデさんに大きな祝福を与えてくださいました。

「あなたが生涯を終え、先祖と共に眠るとき、あなたの身から出る子孫に跡を継がせ、その王国を揺るぎないものとする。この者がわたしの名のために家を建て、わたしは彼の王国の王座をとこしえに堅く据える。」

神さまは、ダビデさんの子孫に「滅びない王国の王様として永遠に堅く据える」と約束してくださったのです。この約束の王様こそが、私たちの救い主となられたイエスさまなのです。イエスさまは、罪深い私たちの身代わりになって十字架につけられ、死と復活を成し遂げてくださいました。イエスさまは、罪と罪に支配された全ての敵に勝利して、神の王国が永遠に揺るぎないものとなることを実現してくださったのです。イエスさまは今、天の御国におられます。私たちは、神様やイエスさまにいつでもどこでも聖霊を通して交わることができます。だからこそ私たちはいつでもどこでも、神さまの栄光をたたえることができ、神さまによって支えられ、苦しい時や困難な時も、私たちは神さまに祈りを求めることができます。神さまはいつも私たちと一緒にいてくださること、これを心から受け入れて信じることこそが、私たちにとって大切なことなのです。

おいのり：天にいらっしゃるイエス・キリストの父なる神さま、今週も御言葉を学ぶときを与えてくださり感謝します。神さまがダビデさんに約束してくださったことが実現したこと、愛する独り子イエスさまを遣わしてくださったこと、そのご降誕を記念して毎年お祝いをする喜びをありがとうございます。わたしたちが救い主イエスさまのご降誕を覚えて、主の日の礼拝を喜びの中で捧げることができますように。今週も神さまにすべてを委ねて、お互いを思いやり、喜びの中で、主と共に歩いていく事ができますように。わたしたちの救い主イエスさまのお名前を通してお祈りします。アーメン。

* 小さなお子さまには、話の内容等をわかりやすく、年齢に合わせて噛み砕いてお話くださいますようお願い致します。



(けんきん) 会堂2階掲示板下の机に献金箱を設置しました。

おいでの際におささげください。

13、おほしがひかる (こどもさんびかをお用ください)